



まい 京都府議会議員 小原 舞 府議会報告

おはら舞 ニュースレター

マイ ウェーブ
My Wave No.1



皆さん、暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。

4月の京都府議会議員選挙では、多くの皆さまより大変大きなお力を賜り、舞鶴市はもとより京都府北中部で初の女性府議会議員として当選させていただきました。

4年間与えていただいた責務を自覚し、感謝の気持ちを持って地域の発展のために尽くしてまいります。

「港で発展するまちー若者が働けて、戻ってこられる舞鶴を!」「心に寄り添うやさしいまちー子育て・医療・介護に安心を!」「農林水産業・中小企業への支援拡大ー京都北部に光を!」選挙期間中、皆さまに訴えさせていただいたことに全力で取り組み、常に初心に戻って邁進いたします。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。



初議会に臨む

6月定例会(6月18日から7月7日)が開催され、中小企業の人材確保などの緊急対策をはじめとした6月補正予算案4億4300万円が審議の末、可決しました。9月定例会では、一般質問に立つ予定です。議員にとって必要なことは、地域を歩き、現場を見て、課題の本質を把握することです。府民の税負担と行政サービスのバランスを念頭に置きながら、政策の優先順位を考え、一方で支えが必要な人を守る女性の視点で議会活動を行ってまいります。

所属委員会の決定!

舞鶴・京都北部に関連する農林水産業、商工労働観光、舞鶴港も所管となる農商工労働常任委員会、関西広域連合に関する特別委員会に所属しました。

【農商工労働常任委員会】

委員会にて質問

- 鳥獣被害対策、災害予防のための森林の不在所有者の把握について
- クルーズ船外国人観光客の動向と分析、観光客受け入れ体制について

- 正規雇用3万人目標に向けて、非正規雇用に占める女性の割合の把握と育児・出産後のキャリア形成について要望

【関西広域連合に関する特別委員会】

委員会にて質問

関西広域連合において、京都府は「広域観光・文化振興」分野を担当し、2020年に関西への外国人旅行者数800万人の数値目標をかかげています。

京都府が事務を担当する通訳案内士(国会資格)の登録について現状を質問し、現在京都府の登録者数698人(2014年)が市内に集中し、8割近くが未就業という中で広域観光、農村、地方も含めた広域な対応ができるのか確認をしました。現在、有償で案内できるのは原則として通訳案内士に限られている中で、京都市が通訳ガイドを増やすために特区活用を決め、関西広域連合としても特区の検討に入っているという答弁を受けました。

舞鶴港に大型クルーズ船の外国人観光客が増える中、通訳ガイドは、観光案内だけでなく、土産物屋や商店街での活躍も期待されます。地元で消費してもらおう仕組みづくり、人材育成は課題となっています(地元の飲食店の方から通訳の必要性のご意見を受けて)。

舞鶴トピックス

… 港で発展するまち舞鶴 …

京都舞鶴港と韓国・ロシアを結ぶ定期貨物初入港に係る歓迎式(7月4日)に出席しました。

現在、鳥取県境港、韓国の東海(ドンヘ)港、ロシアのウラジオストク港を結んでいるDBSクルーズフェリーの航路が舞鶴まで延伸し、舞鶴港から中古自動車、トラクター等の貨物を輸送しました。今年度中には、舞鶴から韓国・束草(ソクチョ)、ロシア・ザルピノを結ぶ航路が開通されます。6月定例会では、荷主及び船社への支援として300万円の新規航路促進事業費が計上されました。

7月18日に全線開通した京都縦貫道をいかに活かしていくか。中国・アジアに近い日本海側の中心地であること、関西圏や近隣の商業圏に近いという地理的優位性を強みに、貿易の強化、企業立地による雇用の創出に繋がるよう取り組んでまいります。

「海の京都博」開催中!!

今年は「海の京都」のターゲットイヤーとして、京都北部の魅力を全国に発信し、地域の活性化を図ります。舞鶴市では、7月18日~9月27日の間、「まいづるまち博」としてイベントやツアーを実施中です。9月10日には、アジア最大級のクルーズ客船「マリーナ・オブ・ザ・シーズ」(全長310メートル、総トン数138,279トン)が舞鶴国際ふ頭(下安久)に入港します。また、祝日に北吸棧橋の海上自衛隊の艦艇見学に多くの観光客が列をなして27号線歩道を散策される光景が見られるようになりました。観光客が滞在し、消費につながる仕組みづくりが必須です。観光先進地視察、消費者ニーズの分析、官民協働による取り組み等、精力的に受け入れ体制づくりに取り組めます。

舞鶴市の 京都府要望に 地元府議会 議員として 同行

